



イマジン
ロータリー

Weekly



第 3023 回例会

◆創立 1959 年 11 月 25 日
◆スポンサークラブ 土浦ロータリークラブ
◆姉妹クラブ 仙台東ロータリークラブ




竜ヶ崎ロータリークラブ

一本日のプログラムー

祝事、ゲスト卓話 自衛隊茨城地方協力本部 本部長 1 等陸佐 貞方 太 様、
 県南救護センター 長関様、
 龍ヶ崎事務所所長 逆井様、副所長 岡本様
 本部自衛官 菊地様

本日のロータリーソング 「奉仕の理想」

奉仕の理想に	集いし友よ
御国に捧げん	我等の生業
望むは世界の	久遠の平和
めぐる歯車	いや輝きて
永久に栄えよ	我等のロータリー

一次週以降のプログラムー

3/14 ガバナー補佐研修会報告 池田ガバナー次年度ガバナー補佐
 3/21 祝日休会
 3/28 地区研修会報告

第 3022 回例会記録 (2023 年 2 月 28 日開催)

点鐘・ソング	工藤会長 ・ 我等の生業
会長報告 工藤会長	- ロータリーカップご参加の皆様、ありがとうございました。 - 例会終了後、理事会を開催します。
幹事報告 滝澤幹事	- 下期会費の納入がまだの方は忘れずをお願い致します。 - 回覧：地区大会ゴルフ大会 4/17(月) 於：筑波カントリークラブ 第 7 分区親睦ゴルフ大会 5/18(木) 於：水海道ゴルフクラブ
委員会報告 出席委員会 小林委員	- 会員数 33 名、出席数 26 名、出席率 87.88% - ZOOM参加者（関野君、秋田君、佐伯君、阿部君、伊東君） - メイクアップ：ロータリーカップサッカーの部（工藤君、大竹君、池田君、寺田君、中嶋君、諸岡君、滝澤君、佐伯君） - 欠席：荒井君、菊地君、関口君、杉野(美)君
社会奉仕委員会 池田委員長	社会奉仕セミナー報告 2/23(木) 於：ホテルグランド東雲 基調講演「地球温暖化・気候変動の現状と対策」 講師：茨城大学・地球環境共創機構特命教授 三村信夫様 地区補助金事業 事例発表：「ひたち郷土かるた」日立中央RC

西村次年度幹事	「ラジオ放送による萩っ子英語発表会」高萩RC 「体験型子ども食堂」土浦RC 地区補助金申請について 地区財団委員 佐川真治様 ・4/23(日) 地区研修・協議会の出席義務者を発表いたします。 島倉次年度会長、西村次年度幹事、岩田次年度会員増強委員長、 杉野(訓)次年度クラブ管理運営委員長、佐伯次年度職業奉仕委員長 伊東次年度社会奉仕委員長、大竹次年度青少年奉仕委員長、 中嶋次年度国際奉仕委員長、糸賀次年度R財団委員長、小島(律)次年度米山委 員長。乗り合わせて参加することを考えております。よろしくお願いします。
---------	---

会員卓話 水と衛生月間に因んで カンボジア井戸贈呈式参加者

岩田 邦夫 君

2月是水と衛生月間です。2008年李会長から「夢をかたちに」最も基本的な資源である。水が手に入らないために死んで行く人々、1日に何千人とい



まっています。李会長は夢ではなく、実行してかたちに表して下さいと提言しました。

「くらしの中の水」について “発展途上国”の特に子供達は、汚れた水が主な原因の病気で、多くの子供達が学校を休み、年間4億4300万日も教育の機会を奪われています。女子にとっては数時間かけて毎日繰り返す、水汲みの重労働により学校に通う機会がないまま大人になっています。人間をはじめ、動物、植物、微生物も生きて行くことも出来ません。私達の身体の65%を占めるのは水です。血液の95%が水分です。10%が失われたら人間の生命は危険、20%が失われると死に至ります。水と生命は切り離すことはできません。水源によって、昭和31年熊本県でメチル水銀による水俣病が発生し、11000人の人々が汚染され公害病として社会問題になり、昭和40年には新潟水俣病が多発。昭和45年、国は水質汚濁防止により工場排水に規制をかけ、工業他事業からの有害物質の排水の規制を始めました。茨城県では2021年から、霞ヶ浦流域の小規模事業所への排水規制を強化しています。

私がカンボジア王国、井戸掘りに関心を持ち始めたのは、R12007年度強調事項の姉妹クラブ、ツインクラブ設立の機運が高まり、当クラブの毛利国際奉仕委員長が積極的に取組み、2007年7月末に、カンボジアに調査に行くことになりました。毛利君、石嶋君、八木君、秋田君、私の5名が参加し、当時はロータリークラブがないことがわかり、現在準備中との会合が出来ました。最終日の市内観光時に警察官と家族が食事中に、飲料水を池から水を汲み使用しておりました。その時感じたのは飲料水が「おーいお茶」のラベルの色でした。夕食時にコーラに氷を使用したところ腹痛になり、翌日の観光は中止で部屋に籠っていました。カンボジア王国の飲料水には多く病原菌が含まれていることを知り、国民にとって重大な問題だと思いました。

2008-9年度、竜ヶ崎クラブの創立50周年を迎えるにあたり、大竹会長より記念事業、国際奉仕委員会に依る事業を考えて頂きたいとの申し出があり、カンボジア王国の井戸掘を企画しました。そしてカンボジア大使館、21世紀のカンボジアを支援する会：根岸恒次様の協力によって、5年間事業を続けることが出来ました。また今後も5年に1度位は井戸掘り事業が出来たらと思います。

渡利 千里 君「カンボジアで井戸の贈呈式」

本日は私たちのクラブが引き続き行っていた「カンボジアへ井戸の寄贈事業」は成果を挙げていた事業です。カンボジアの概略とこれまでの活動について反省を込めて簡単にお話をいたします。





1、カンボジア王国

カンボジアはベトナム、ラオス、タイに囲まれて一部は南シナ海のタイランド湾で海に面した18万平方km（日本の半分の面積）、人口は約1600万人で第2次世界大戦後、フランス支配下の植民地から独立した王国です。豊かで恵まれた農業国と言われ、インドシナにあって平和のオアシスと謳われていたカンボジ

アで、ポルポト政権時代は、まさに戦慄すべき地獄がこの世に存在したのです。1975～79年にはポルポトが政権を取り、原始共産制の実現を目指すクメール・ルージュの政策の下、飢餓、疫病のほか思想改造の名の下に多数の虐殺などで200万人以上の死者が出ました。教師、医師、公務員、芸術家その他良識ある国民のほとんどが捕らえられて強制収容所に送られ処刑されました。1979年にポルポト政権が崩壊してから45年が経っても国土が荒廃し、未だに地雷もあり、掘り起こせば多くの遺体が出るといわれています。小学校の近辺に沢山積まれた頭蓋骨（シャリコウベ）を見たという会員もいます。僅か4年間で多くの国民が殺され、破壊された国はありません。

2、なぜ、カンボジア

私どもが特にこのカンボジアに関心を寄せた理由は、カンボジアは1945年に日本が敗戦のために瀕死の状態であったときに食料を援助して呉れたり、日本に課せられた戦後賠償をいち早く放棄してくれた国であること。お陰で日本は復興できたのにカンボジアはその後内戦のため国土が疲弊し、力関係が逆転して現在も困っていること。お互いにアジアの仏教国であり宗教上も連帯意識があり、民族の気持ちが共通であること。対日感情が良いので安全に支援に入り易いことが挙げられます。私どものクラブは微力ながらこのカンボジアを支援することを民生面から行っており、小学校に継続して井戸を掘って提供する活動をしていました。

3、根岸さんと出会う

根岸恒次氏（1948—）は以前からカンボジアを支援するためには日本とカンボジアの架け橋になってやろう、人生をこれに賭けてみようという大きな夢を持つ方で、NPO「21世紀のカンボジアを支援する会」を立ち上げていました。彼は長年勤めた事業所を辞めて何もかも一からのスタート、先行き不安だったそうですが、多くの方の理解を得て、なんと2001年には大きな団体に成長させていました。これまでに学校の校舎を10棟、井戸を100基、遊具などをそれぞれの学校に寄贈し、奨学金は500人に、学用品を与えた生徒は10万人。そのほかに職業訓練、民話紙芝居、緊急食糧支援、巡回診療などなど、カンボジアで行ったプロジェクトは数多くの成果をあげていたのです。その理事長である根岸氏をクラブ例会で卓話をしていただき、一方、実情を知るためにカンボジアの実地をクラブの第1班が2003年に訪ねました。そしてカンボジアの田舎では水に苦労しており、洗顔や手洗いはともかく、炊事や飲料にも池や雨水に頼っている現状を見て参りました。農村には水道がなく、川や池の水、屋根に降った雨水を貯め、生活用水や飲料用にも利用していました。しかし幸いにも、井戸水は乾季でも湧れることなく、農薬を使わないのできれいな水が地下に豊富にあっても井戸を掘る財力がなく、途方に暮れているのが現状でした。

カンボジアで水の問題が解消できたら子どもたちの健康が支えられ、教育水準の向上にも寄与できると、まず小学校の庭に井戸を作ることにしました。子供にはせめて学校だけは行かせたい、一生懸命学び、きれいな水を飲んで思い切り遊んでほしい。井戸は生徒ばかりでなく、学校周辺の地域住民も利用できるように掘る場所にも配慮をしました。初めにクラブの代表（田坂君、秋田君）がカンボジア大使館に出向いて大使に挨拶をして、この事業には国王にも連絡が行き感謝状が用意されていました。

4、井戸の贈呈式

井戸が完成し水質の検査にも合格して、2009年はクラブから7名（池田、糸賀、岩田、大竹、毛利、若井、渡利）の会員がシェムリアップに出かけましたが、丁度その時根岸氏もプノンペンに滞在されていたので遠路来られて、あちこちの小学校を案内していただきました。小学校は（ワットロルス小学校・生徒 263 名、トロピアントム 135 名、アンコンビー 400 名）を訪れてそれぞれの学校で井戸の贈呈式を挙行了しました。この年は竜ヶ崎ロータリー・クラブ創立50周年記念事業の一環として実施されたものです。式は国旗掲揚に始まり、校長から大切に長く使いますと謝辞があり、根岸氏とクラブの大竹会長が挨拶、持参したクラブ名入のサッカーボールを寄贈しました。それから校庭脇の井戸できれいな水が豊富に出ることを確認して安心し、この水で子供たちはわれ先に顔を洗い、コップに汲んで飲むのを見て、会員一同も心から嬉しく思いました。

ポールハリスフェロー表彰



池田君 5 回目



工藤会長ベネファクター

菊地君 3 回目

荒井君 3 回目

3 月の記念日、おめでとうございます

お誕生日

・ 5 日：杉野訓男君

・ 6 日：関口英樹君

ご主人・奥様

・ 7 日：秋田玲子さん

・ 11 日：小島潤さん

お誕生日

・ 13 日：阿部美恵子さん

結婚記念日

・ 8 日：荒井宏君と康子さん

・ 17 日：渡利千里君と信子さん

・ 30 日：岩田邦夫君と節子さん



ニコニコボックス

私は進んで奉仕の資金を提供します

¥5,000

池田君

ポーリハリスフェローを頂きました。

¥3,000

渡利君

本日、卓話をさせて頂きます。宜しくお願い致します。
早退します。早退・欠席が多く申し訳ございません。

¥2,000

毛利君

週報に写真が載りました。

岩田君

卓話します。よろしく。

¥2,000

大竹君

ロータリーカップが無事終了致しました。ご協力ありがとうございました。

¥1,000

沼野君

本日、会員増強委員会と合同で新入会員のオリエンテーションを開催致しました。次の STEP に進みますので宜しくお願い致します。

ご芳志の寄金、ありがとうございました。

小計 7 件 ¥18,000 累計 269 件 ¥973,000

通常例会を欠席される方は当日午前 10 時までに糸賀副 S A A （電話 090-1619-2899）に必ずご連絡ください。

R I 第 2820 地区・第 7 分区

竜ヶ崎ロータリークラブ

URL: <http://ryugasaki-rc.org/>

☆例会日：火曜日・12：30～13：30

☆会長・工藤克昌

☆幹事・滝澤健一

☆S A A・沼野晃広

☆例会場：松泉閣

〒301-0012 龍ヶ崎市上町 4675

電話 0297-62-0154